

健康増進法施行に伴う 市民の健康増進への取組みは

健康づくり計画を策定し 増進事業を進めていきたい

遠田 宗雄議員 健康増進法の施行に伴い、市民の健康増進に向け、市の今後の取組みについて考えを聞きたい。

また、医療センターのトレーニングルームの存続に関連して、施設利用の考え方、方向性を聞きたい。

市長 保健医療分野だけではなく、健康増進法の趣旨に沿った健康づくり計画を策定する予定で準備を進めている。今後は、この計画に基づき、健康増進事業に取り組んでい



▲良い汗流して健康づくり

公平性・透明性を高める 電子入札導入の考えは 電子自治体共同運営協議会に参加し 準備を進めている

池田 茂二議員 入札は、契約の最初に行われる大きな入り口と理解しており、今まで地域性を考慮する中、様々な改革が行われてきた。

現在、公平性・透明性を図る中で、どのようにサービスを向上させるかが重要となってきた。

利用者の利便性・サービス性を伸ばすためにも、電子入札という方法があると思うが、市の考えを聞きたい。

市長 電子入札システムの構

きたいと考えている。

福祉保健部長 健康づくり計画は、健康増進に関する事業を計画的に進めるために策定するものと考えている。

この過程では、様々な課題が出てくるものと考えられるが、それらを解決するために、医療センターをどのように活用すべきかを市民参加の協議会で議論いただき、その意見を尊重する中で、トレーニングルームを含めた医療センターの今後の活用を決定していくべきものと考えている。

教育委員会独自の ホームページ新設の考えは

現行のホームページを活用し 内容の充実を図っていく

小山 有彦議員 今年度から実施された府中市学校教育プラン21の中には、開かれた教育行政の推進として、市民との教育情報の共有を積極的に図るとされている。

このことは、教育の分権化や府中市情報公開条例の趣旨にも沿っていると思う。

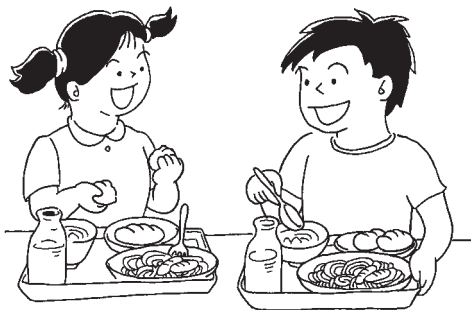
そこで、教育行政の情報公開を更に進めるため、教育委員会独自のホームページを新設すべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

学 校 給 食 単独調理場へ移行する考えは

現施設で管理システムを徹底しており 切り替える考えはない

服部 ひとみ議員 市立第1給食センターで、職員から腸管出血性大腸菌O157が検出された問題は、市民に不安を広げた。改めて学校給食の安全性について聞きたい。

また、今回は、幸い迅速な対応により大事には至らなかったが、平成8年にO157が大発生してから、学校給食の在り方が抜本的に再検討され、平成9年に文部省保健体育審議会より、単独調理場への移行が望ましいとした答申



常任委員会からの審査報告

総務委員会

第29号議案

府中市個人情報保護に関する条例

この議案は、本市における個人情報保護制度の更なる充実を図るため、新たに条例を制定するもの

それぞれの条文ごとに詳細な説明を受けた後、質疑に対して、「本条例で規定している職員の中には、臨時職員も含まれる」、「守秘義務の指導・徹底は、短期の臨時職員についても、契約において守秘義務を課しており、雇用の際に説明し徹底しているが、今後も、守秘義務については厳しく課していきたいと考えている」との答弁があった。

委員から、「本案は、国の法令、都の条例などができて、本市でも同趣旨の条例を制定するということであるので、本案に賛成する」との意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教経済委員会

第31号議案

府中市手数料条例の一部を改正する条例

この議案は、本年8月の住民基本台帳ネットワークシステムの第2次稼働に伴い、住民基本台帳カードの交付に係る事務について手数料を徴収するため、所要の改正を行うもの

質疑に対して、「住民基本台帳カードの安全性については、ICチップの利用等、様々なセキュリティ対策が講じられている」との答弁があった。

委員から、「住基ネットワークは国民の合意を得ていないが、本案は、カード交付が希望者のみなので賛成する」との意見があった。一方、「個人情報漏えいが心配なうえ、仕組みも不透明であり、周知もされていないので、本案に反対する」との意見があった。

採決の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第34号議案

府中市医療センター条例の一部を改正する条例

この議案は、予防歯科指導事業の見直しに伴い、所要の改正を行うもの

この改正は、「現在、医療センターで実施している予防歯科指導事業のうち、フッ素塗布事業は、市内歯科医院との連携、協力体制が整ったので、希望者には市内歯科医院を案内する」、「本条例の施行は平成16年4月1日から」との説明があった。

質疑に対して、「フッ素塗布などの有料で行っている予防処置については、市内の医療機関で実施し、市としては、無料の歯科検診、歯科指導、教育、相談を充実させていく」、「予防歯科事業の受診数は、延べ人数で、平成13年度1971人」、「本条例施行のPRは、十分にしたい」との答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

陳情第10号

府中市浅間町4-13番地(株)協立電子工業跡地住宅地開発に関する陳情

この陳情は、「本件住宅地開発は、周辺住民に計画の十分な説明・協議がなされぬまま造成工事がなされた。市議会には、この周辺市民の心情を理解し、特段のご助力を頂きたい」というものである。

委員から、「議会で審査している間に工事が進行している案件であり、早急に結論を出す必要があるのでは採択されたい」との意見があった。一方、「業者との協議が必要であり、議会として何ができるか検討を要する、業者の回答を得ていないこともあるので、継続審査とされたい」との意見があった。

採決の結果、本陳情については、賛成多数により、継続審査にすべきものと決定した。その後、7月2日に本委員会が開催され、採決の結果、賛成多数により、採択すべきものと決定した。なお、結果については、9月定例会に報告される。